

# 6月の歴史カレンダー

## ★6月に何が起こったか

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
水俣病新対策の第一弾となる関西訴訟の勝訴原告らに36人への医療費支給事業がスタート (2005/H17)		水俣病被害者互助会(佐藤英樹会長)が設立 (2005/H17)	水俣市、公害防止条例に基づきチッソと公害防止協定を締結 (1974/S49)	「総合もやい直しセンター」(仮称)の建設計画、同センター建設審議会で了承される (1996/H8)	水俣湾ヘドロ処理工事再開。(仮締切堤着工) (1998/S55)	
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
水俣湾公害防止事業第1工区(緑の鼻地区)着工 (1981/S56)	「水俣病情報センター」がオープン、水俣病資料の保存、発信へ (2001/H13)		吉井水俣市長、水俣市議会で国、熊本県に対し「水俣病は終わってはならず、より積極的な支援を求める」と訴える一方、水俣病の教訓を生かし、環境や人の和を大切にしまちづくりなどに努めることを改めて表明 (1996/H8)	わが国初の公害裁判新潟水俣病患者3世帯13人が昭和電工を相手どり、慰謝料請求4,450万円を、新潟地裁に提訴 (1967/S46)	水俣湾公害防止事業浚渫工事開始(緑の鼻地区) (1983/S53)	患者家庭互助会訴訟派28世帯112人、チッソにし、総額6億4,000万円余の慰謝料請求の民事訴訟を熊本地裁に提訴。(第一次訴訟) (1969/S44)
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
			『水俣病の科学』が出版、先端理論で水俣病原因の化学的全体像を解明 (2001/H13)	◆二回目の水俣湾汚染魚一掃、四日間にわたり行う (1989/H1) ◆水俣病の政府解決策に基づいた、「水俣市南部もやい直しセンター(おれんじ館)」が落成 (1997/H9)	◆水俣病問題の早期前面解決とチッソの存続強化を願う市民大会に3,700人が参加 (1993/H5) ◆「本願の会」、熊本県と水俣市との間で「水俣湾埋立地における石像設置に関する覚書」に調印 (1996/H8)	◆患者と昭和電工(株)とで補償協定が成立、調印 (1973/S48) ◆認定されていない患者ら、昭和電工(株)と国を相手に提訴(第二次訴訟) (1982/S57)
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	第6回チッソ県債発行一発行額20億400万円 (1981/S56)	◆水俣病資料館の語り部7人、「語り部の会」を結成 (1999/H11) ◆県中学水泳競技大会で出場した水俣市の中学生に「水俣病が来た」等と差別的な発言をしていたことが発覚 (2003/H15)		熊本県、水俣病総合対策事業施行(鹿児島県は6月29日施行) (1992/H4)	水俣病関係閣僚会議、①熊本県の患者県債を低利に借り換える、②チッソに子会社を設立し、国と県が資金助成する、などを柱とする原因企業チッソに対する新たな金融支援策を正式決定 (1997/H9)	特別医療事業要綱施行 (1986/S61)
29日	30日					